

## ジンバブエにおけるコレラ感染症の現況（12月12日時点）

### <概要>

ジンバブエ国内の累積患者数は 10,598 人（確定例 281 人，疑い例 10,317 人）うち死亡例 59 人で，致死率（CFR）は 0.56%です。

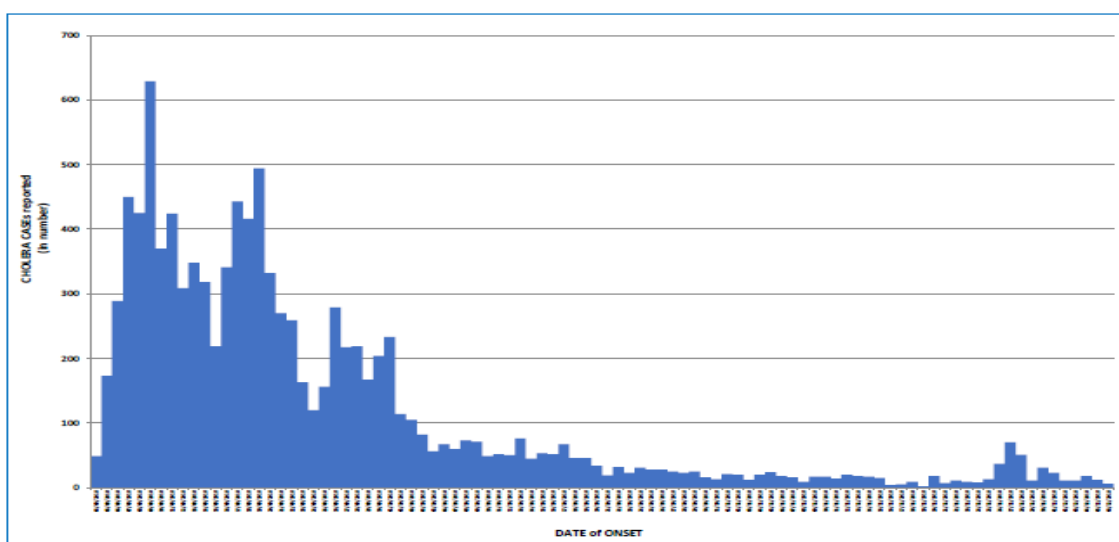


図1 ジンバブエのコレラ流行曲線（2018年12月12日時点 n=10,598）  
保健育児省（MoHCC）・WHOの現況報告書より引用

### <ハラレ市の状況>

2018年9月初めにハラレ市の人口密集地区（グレン・ビュー，ブディリロ地区）でコレラ患者が発生。その後，感染者数が急速に増加し，9月12日には大統領がコレラによる災害事態宣言を発令しました。当国の各機関および国際保健機構（WHO）などの国際機関が協力して，WASH（Water, Sanitation and Hygiene：水・下水・衛生）活動や経口コレラワクチン集団接種などの対策を実施。これにより11月後半以降，ハラレ市の新規患者数は平均10人/日以下で推移しており，ハラレ市における流行は収束状況にあると考えられます。

ただし，発生源となったハラレ市の人口密集地区において，水の供給や下水の問題は解決されていないとする新聞報道もあり，流行が再発する危険性は残ります。

### <その他の地域の状況>

中央マジョナランド州マウント・ダーウィン郡で，11月25日にコレラの集団発生が宣言されました。感染者は主に違法な鉱山労働者で，劣悪な衛生環境が原因と考えられています。緊急対策チーム等が同地区に入って対策を開始し，新規患者数は減少して10人/日以下となっています。現時点での同地区の累積患者数は224人，うち死亡例4人です。